

外国語学部・外国語教育学研究科が求める
教員像および教員組織の編成方針

制定：2017年12月

関西大学は、「学の実化（がくのじつげ）」を学是（理念）とし、「学理と実際との調和」を求める考え方を示している。この学是の中でも、本学部・研究科では、特に「国際的精神の涵養」と「外国語学習の必要」に基盤をおき、「外国語」を切り口に時代と社会に向き合い、国際社会のフロントランナーとなりうる人材の育成をめざしている。これを受けて、上記の人材を育成するにふさわしい教員組織の確立と維持を目指し、本学部・研究科としては、以下のとおり「求める教員像」と「教員組織の編成方針」を定める。なお、本方針は、「大学が求める教員像および教員組織の編成方針」（2017年3月1日制定）を基盤としている。

（1）学部・研究科として求める教員像

外国語学部・外国語教育学研究科として求める教員は、本学部・研究科の設置理念、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針等を理解し、1）国際的な視野で研究活動を遂行し、新しい価値や未来を切り拓く知見を生み出せる能力、2）高度な知識や専門的なスキルを用いて教育を十全に実践できる能力、3）優れた研究実績・教育実績に基づき、地域社会、国内・国際社会との適切な交流と循環により社会に貢献できる能力を有する者とする。

（2）教員組織の編成方針

本学部・研究科の教育・研究領域における必要性を踏まえ、学位授与の方針ならびに教育課程編成の方針を実現するために、以下の点に留意して教員組織を編成する。また、この際、本学部が所掌する全学教養教育（外国語）での必要性についても十分な配慮を行うものとする。

留意すべき点

- (A) 本学部・研究科ならびに全学外国語科目の学生数と教員の比率
- (B) 年齢構成の均衡
- (C) 国籍の多様性
- (D) 性別のバランス
- (E) 言語・領域の必要性
- (F) 全学・学部業務の必要性

(3) 授業科目の担当

教育上主要と認める授業科目については、原則として専任の教授、准教授が担当する。その他の科目については、専任の教授、准教授、助教、ならびに専任に準ずる教員、非常勤の教員が協力してこれを担当する。

(4) 教員の募集・採用・昇任

教員の募集・採用・昇任に関しては、「職員任免規則」「教育職員選考規程」「外国語学部・外国語教育学研究科における内規・申し合わせ」等の適切な運用に務める。

(5) 教育内容の改善のための組織的な研修等

教育の資質の向上を図るため、ファカルティ・ディベロップメントとして組織的かつ多面的な方策を実施する。

以 上